レター

脂腺増生による脂漏症を呈した ワイヤー・ヘアード・フォックス・テリア

Seborrhea due to Sebaceous Hyperplasia in a Wirehaired Fox Terrier

小細浩身^{1)*} 永田雅彦²⁾

¹⁾ クッキー動物病院, ²⁾ ASC 皮膚科

Hiromi Oboso^{1)*}, Masahiko Nagata²⁾

¹⁾ Cookie Animal Hospital, ²⁾ ASC Dermatology Service

Received August 13, 2013 and accepted September 11, 2013

症例は7歳齢、未去勢雄のワイヤー・ヘアード・フォックス・テリアで、生後半年頃より略全身の掻痒行動や脂漏症がみられ、漸次悪化拡大し平成24年8月8日当院受診 (Fig. 1A)。母犬および同腹子2頭にも同様の症状がみられた。皮膚生検を実施したところ、脂腺の不整な増生を認め、毛包は萎縮し成長期毛球がみられなかった。また角質増生を伴う表皮および毛包上皮の肥厚を認めた (Fig. 1B)。基礎疾患の評価を目的に血液検査 (甲状腺ホルモン検査含む) を実施したが特記すべき異常はみられなかった。以上により脂腺増生を特徴とした家族性の本態性脂漏症と診断した。

角質溶解性シャンプー (薬用サルファ・サリチル酸シャンプー, フジタ製薬, 東京), ビタミンA製剤 (チョコラA, エーザイ, 東京), 脂肪酸製剤 (オメガダーム, ビルバック, 大阪) で治療したが奏功せず, 洗浄後に発赤や掻痒行動の悪化がみられ, さらに下痢嘔吐が生じた。次に皮脂分泌抑制や脂腺の萎縮を目的に0.1%モメタフラゾン含有クリーム (モメタオティック, インターベット, 茨城) を20%含有させたミネラルオイルを全身に塗布し, ミネラルオイルと過剰な角質・脂質の除去の目的のため, 及びマラセチアも確認されていたので2時間後にミコナゾール硝酸塩・クロルヘキシジングルコン酸塩含有洗浄剤 (マラセブ, キリカン洋行, 東京) にて洗浄, その後角層の保護の目的でΩ-3-6

Fig. 1. Clinical and histopathological features of the dog. Note generalized seborrhea and alopecia (A) and widely scattered lobes of the sebaceous gland at the dermis (B). $\times 200$.

* 連絡先: 小細浩身 (クッキー動物病院)
〒591-8041 大阪府堺市北区東雲東町 3-6-20
TEL 072-251-1616 FAX 072-251-1616
E-mail: info@cookie-ah.com

Fig. 2. Clinical and histopathological features of the dog after topical glucocorticoid application for two months. Note apparent hair regrowth (A) and diminished lobes of the sebaceous gland (B). $\times 100$.

脂肪酸、エッセンシャルオイル含有スポットオン製剤（デルモセントエッセンシャル 6，共立商会，東京）を塗布する外用療法を週 2 回実施した。初回治療にて掻痒が消退し，治療を重ねるにつれ脂漏および鱗屑ともに緩和し，8 週間には育毛もみられた（Fig. 2A, 2B）。

脂漏症は過剰な皮脂分泌を特徴とする皮膚徴候であり，本態性および続発性に生じる¹⁾。その病理発生として脂腺における皮脂産生速度亢進および脂腺過形成が指摘されている^{1, 2)}。Dedola, C., *et al.*²⁾は，ボーダーコリーに特発性汎発性脂腺過形成による本態性脂漏症が生じることを報告し，犬種特有の遺伝的素因の存在について考察している。自験例でみられた症状と組織像は Dedola C, *et al.* の報告²⁾に合致し，ワイヤー・ヘアード・フォックス・テリアにも同様の本態性脂漏症が発症することが推測された。

自験例では外用ステロイド製剤を含む外用療法が有用であったが，その内容は複合的かつ煩雑であり，今後より簡便かつ効率的な方法の確立が望まれた。

引用文献

- 1) Gross, T.L., Ihrke, P.J., Walder, E.J. and Affolter, V.K. 2009. pp. 165–168. In; 犬と猫の皮膚病 第 2 版 日本獣医皮膚病学会監修，インターズー，東京
- 2) Dedola, C., Ressel, L., Hill, P.B., Van Den Broek, A.M. and Thoday, K.L. 2010. *Vet. Dermatol.* 21: 494–502.